

集落活動センターの推進について

1. 平成29年度の取り組み状況

(1) 量的拡大

ア 新たな掘り起こし

- ・集落の活力づくり支援事業費補助金による支援

平成29年度執行見込み：10,684千円（11市町村 14件）

イ 市町村とのさらなる連携・強調

- ・市町村との個別の意見交換の実施（27市町村）

ウ 成功事例の発信等

- ・制度説明用パンフレットの作成・配布（4,500部）
- ・農家レストラン・特産品等情報発信小冊子「土佐巡里（とさめぐり）」の作成・配布（8,000部）
- ・中心商店街でのPR活動9回（予定を含む）等

(2) 質的向上

ア 事業支援

- ・集落活動センター推進事業費補助金

平成29年度執行見込み：183,820千円

うち整備事業：147,196千円（16市町村 20件）

うち人材導入活用事業：28,973千円（13市町村 21件）

うち経済活動拡充支援事業：7,687千円（3町 3件）

イ 人材育成確保等

- ・集落活動センター研修会の実施4回（予定を含む）
- ・高知ふるさと応援隊研修会の実施9回（予定を含む）
- ・アドバイザーの派遣

集落活動センター推進アドバイザー31回（予定を含む）

地域づくりアドバイザー9回（予定を含む）

ウ 集落活動センターのネットワークづくり

- ・集落活動センター連絡協議会の活動支援

2. 課題

(1) 量的拡大

- さらなる掘り起こしに向けた、市町村との連携強化や集落の活力づくり支援事業費補助金等のさらなる周知

(2) 質的向上

- 集落活動センターが行う経済活動のさらなる拡大

3. 平成30年度の取り組み方針・進め方

(1) 量的拡大

- 市町村との意見交換の実施

- 集落の活力づくり支援事業費補助金、集落活動センター推進事業費補助金の活用を促進

(2) 質的向上

- 事業計画や法人化等をテーマとする研修の実施

- 集落活動センターの活動が軌道に乗った地域において、事業計画に基づき実施する、センターのメインエンジンを強化する取り組みを支援

- 集落活動センター推進アドバイザーの派遣

- 集落活動センター連絡協議会の活動を支援

集落活動センターを核とした集落の維持・再生の仕組みづくり

目指す姿

高齢者の暮らしを守り、若者が住み続けられる中山間地域の実現

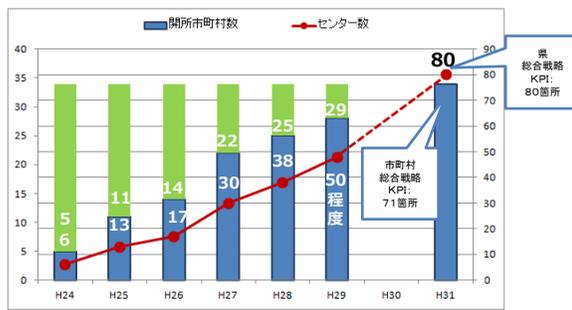


平成30年度の取り組み

まち（地域）づくり

- 高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI：80か所の達成に向け、開所に向けた取り組みを加速
 - ・集落活動センター推進事業費補助金（整備事業、経済活動拡充支援事業）
 - ・集落の活力づくり支援事業費補助金：新たな候補地の掘り起こしを支援
 - ・市町村とのさらなる連携強化等
 - ・情報発信事業：集落活動センター小冊子「土佐巡里」の改訂・制作、ポータルサイト「えいとこうち」の運用、中心商店街でのP R販売等
 - ・魅力ある地域づくり活動支援事業：コミュニティ助成事業等を活用し、魅力ある地域づくり活動を支援・育成

集落活動センター開所実績と目標



ひとづくり

- 人材導入への支援
 - ・集落活動センター推進事業費補助金（人材導入活用事業）
 - ・高知ふるさと応援隊県外募集説明会等
- 人材育成への支援
 - ・集落活動センター研修：全体研修、事業計画作成、法人化等6回
 - ・高知ふるさと応援隊研修：初任者研修、交流会の開催
 - ・集落活動センター推進アドバイザー等：34回
 - ・地域づくりアドバイザー：集落活動センターの候補地の掘り起こし等、地域活性化に向けた支援 20回



- 集落活動センターの相互交流・相互研鑽
 - ・集落活動センター推進事業費補助金（集落活動センター連絡協議会支援事業）
 - 総会、推進フォーラム、エリア別情報交換会の開催、相互視察等の実施



しごと（産業）づくり

従来の仕組みを活用した集落活動センターの経済活動の拡充（継続）

- ・集落活動センター推進事業費補助金（整備事業、経済活動拡充支援事業）

【課題】
○「目指す姿」の実現に向けては、集落活動センターの経済活動をセンターを支えるメインエンジンにステップアップさせ、さらには地域産業のメインエンジンにつながる取り組みを積極的に後押しする施策が必要

所期の目的を超えて、さらなる飛躍を！



集落活動センターが核となった、地域を支える産業づくりへ

新 集落活動センターのメインエンジンの強化・確立を支援

「メインエンジン支援事業」

（集落活動センター推進事業費補助金の新メニューとして創設）

Point 1
集落活動センターの活動が軌道に乗った地域において、事業計画に基づき実施する、センターのメインエンジンを強化する取り組みを支援

Point 2
専門家の派遣により事業計画策定を支援、実効性を高め、集落活動センターの経済活動を事業として確立



三層構造の取り組みを加速化し、その波及効果を拡大していく

例えば、自然、アクティビティ・体験を全面に出した観光の取り組みを生かした宿泊、レストラン、直販施設等の施設整備などを支援

これまでの取り組み

さらなるバージョンアップ！

県内に広がる集落活動センター



- ◇センターの掘り起こしのための補助事業
 - ・集落の活力づくり支援事業費補助金

【H29年度実績見込み：14件、12,543千円】
・土佐清水市下川口地区：集落活動センターの周知及び経済活動のモデル事業実施
・須崎市安和地区：冷凍冷蔵庫等の整備

- ◇市町村との連携強化
 - ・中山間振興・交通部幹部等職員による各市町村との意見交換（H29年度：27市町村）
- ◇講演会・フォーラムの実施（6月、3月予定）
 - ・石破茂 初代地方創生担当相による特別講演（H29.6.11）

- ◇集落活動センターの効果や取り組み事例の周知
 - ・制度説明用パンフレットの作成・配布（H29：4,500部）
 - ・農家レストラン・特産品等情報発信小冊子の作成（H29：8,000部）
 - ・中心商店街でのP R活動等



- ◇センターの拡充・確立のための補助事業
 - 【H29年度実績見込み：183,820千円】
 - ・集落活動センター推進事業費補助金
 - ・整備事業：黒潮町鯉川地区（宿泊交流事業用備品整備）等20件
 - ・人材導入活用事業：21件
 - ・経済活動拡充支援事業：本山町汗見川地区（ファンクラブの創設）等3件

- ◇人材育成・確保の取り組み
 - ・集落活動センター研修会の実施
 - 全体研修（6月）、事業計画作成研修（9月）等、全4回予定
 - ・高知ふるさと応援隊研修会の実施
 - 研修、現場ツアー等、全9回予定
 - ・アドバイザーの派遣
 - 集落活動センター推進アドバイザー 31回、地域づくりアドバイザー 9回

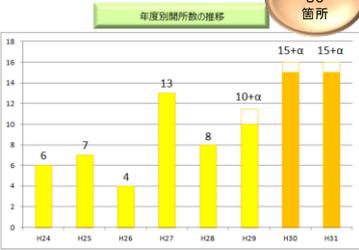
- ◇集落活動センターのネットワークづくり
 - ・集落活動センター連絡協議会（H28.6設立）の活動支援

集落活動センター推進事業費補助金(メインエンジン支援事業の位置づけ)

集落活動センターのこれまでの取り組み

量的拡大・ネットワーク化

目標
80
箇所



H28.6.3
高知県集落活動センター連絡協議会発足

質的向上

- 経済活動の活性化**
- 汗見川ふれあいの郷清流館(本山町汗見川)(宿泊者数: H28年度約1,000人)
 - チムシルバン・レストラン(椿原町初瀬)(来客数: 約7,600人(H29.4未現在))
 - 農家食堂・Cafe「イチョノキ」(津野町郷)(来客数: 約3,200人(H29.4未現在))
 - やまびこカフェ営業日数: 週6日営業(三原村)
 - 農業法人設立によるシシトウ栽培(三原村)
 - (一) 四万十農産による複合経営拠点の取り組み(四万十町仁井田)
 - 杉苗の栽培(大豊町西峯)
 - 特用林産(マイタケ)の栽培(いの町上本川) など



(前倒し可)

①整備事業
(活動の基盤整備)

②人材導入活用事業
(必要な人材の導入)

立ち上げ

現在の到達点

○立ち上げ時の話し合いや視察のサポートにより26市町村41カ所で開設。平成30年度の早い段階では、50カ所程度の開設が見込まれている。

○また、立ち上げ後は①補助金、②アドバイザー派遣、③事業計画作成研修、④連絡協議会での情報交換会などにより、集落活動センターの活動の充実を支援。併せて、農林水のロールモデルの取り組みや、地域アクションプラン等との連携・リンク等により、活動のさらなる拡大に目途がみつかる。

○一方で、多くのセンターのそもそもの目標が「集落」の維持・活性化であり、その意識や行動も自ずとその範囲にとどまってしまう傾向。

○経済活動の自立については、財政支援終了後の雇用の維持、支え合い活動の拡充については、集落の住民の具体的な困りごとの解決、という段階。

○若者が住み続けられる中山間地域の実現に向けて、もう一段のステージアップが望まれる。

○「目指す姿」の実現に向けては、集落活動センターの経済活動をセンターを支えるメインエンジンにステップアップさせ、さらには地域産業のメインエンジンにつながる取り組みを積極的に後押しする施策が必要

従来の仕組みを活用した
集落活動センターの経済活動の拡充(継続)

・集落活動センター推進事業費補助金(整備事業、経済活動拡充支援事業)

所期の目的を超えて、さらなる飛躍を!

飛躍への挑戦

集落活動センターが核となった、地域を支える産業づくりへ

④メインエンジン支援事業(集落活動センターのメインエンジンの強化・確立支援)

補助対象経費:
集落活動センターの経済活動の確立に必要なハード又はソフト事業(ただし、ソフト事業はハード事業と密接に関連するものに限る)

補助率: 市町村事業費の1/2以内

補助限度額:
1センターあたり10,000千円以内(ただし、知事が特に認める場合はこの限りではない)

補助期間: 単年度

補助事業者: 市町村

事業実施主体:
市町村、集落活動センター運営組織及びその構成員(団体等)

④メインエンジン支援事業 (それぞれの集落活動センターのメインエンジンの確立)



③経済活動拡充支援事業
(集落活動センターの経済活動支援)



○センターの活動が軌道に乗った地域において、将来の地域産業のメインエンジンとなることを目指して、その経済活動(センターのメインエンジン)をさらに強化する取り組みに対する支援策を創設

○産業振興施策群の活用

○産業振興推進総合支援事業費補助金

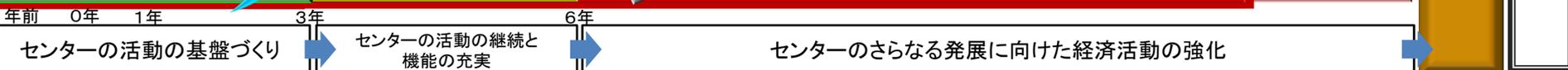
- ・土佐MBA
 - ・商人塾
 - ・創生塾
 - ・まるごと高知
 - ・事業計画策定
 - ・法人化
 - ・中核人材の確保
- など



目指す姿

高齢者の暮らしを守り、若者が住み続けられる中山間地域の実現

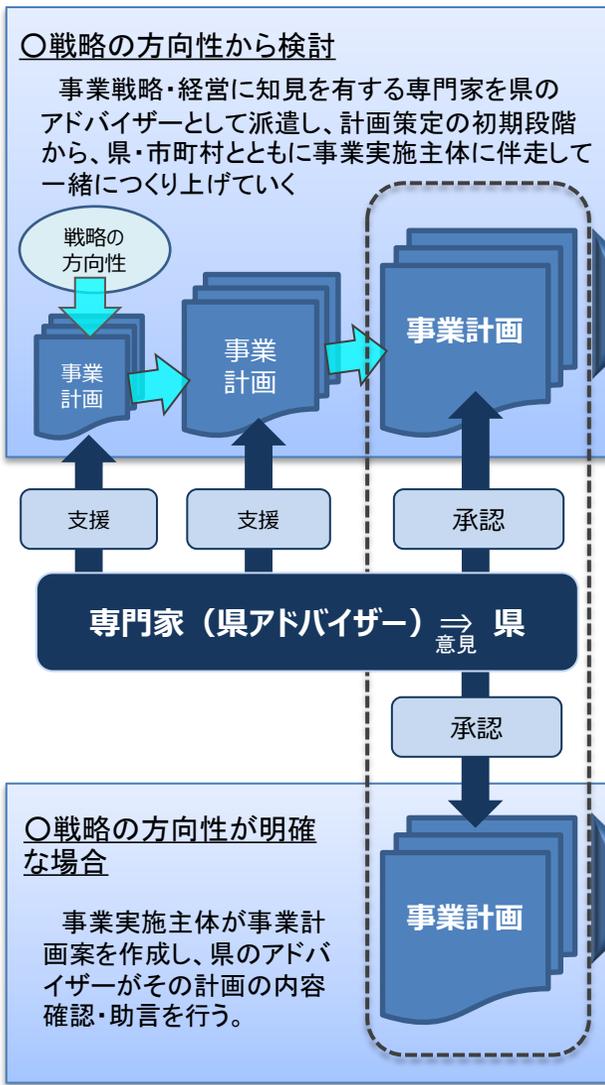
集落活動センターのメインエンジンが成長し、地域産業のメインエンジンに!



- 集落活動センターの活動が軌道に乗った地域において、事業計画に基づき実施する、センターのメインエンジンを強化する取り組みを支援
- 専門家の派遣により事業計画策定を支援、実効性を高め、集落活動センターの経済活動を事業として確立

事業実施主体 (集落活動センターの運営組織又は運営組織の構成員)

アドバイザーの派遣による事業計画の策定支援 (拡充)



メインエンジン支援事業 (新規)

県のアドバイザーが事業の実効性について認めた事業計画に基づき実施する集落活動センターのメインエンジンを強化する事業について補助

補助対象経費：
集落活動センターの経済活動の確立に必要なハード又はソフト事業 (ただし、ソフト事業はハード事業と密接に関連するものに限る)

補助率：市町村事業費の 1 / 2 以内

補助限度額：
1 センターあたり10,000千円以内
(ただし、知事が特に認める場合はこの限りではない)

補助期間：単年度

補助事業者：市町村

事業実施主体：
市町村、集落活動センター運営組織及びその構成員 (団体等)

さらなる拡大

産業振興施策群

- 産業振興推進総合事業費補助金
- 産業振興施策群の活用

+

集落活動センターのメインエンジンが成長し、地域産業のメインエンジンに！

高齢者の暮らしを守り、若者が住み続けられる中山間地域の実現

- ・土佐MBA
- ・商人塾
- ・創生塾
- ・まるごと高知
- ・事業計画のバージョンアップ
- ・法人化
- ・中核人材の確保 など